



月刊 千葉動力車労働

沖縄から北海道まで 全国を駆け巡る「百万人署名運動」

一人、一人の署名貫徹へ

日米新安保ガイドラインと有事立法に反対する「百万人署名」運動は、全国でエンジン全開、本格的なたたかいに突入している。動力車労働者は、まず三月中旬に組合員一人一人の署名を集めよう。

新ガイドラインは、沖縄の米軍基地を固定化し、朝鮮半島などへの本格的な共同出兵に踏み切ろうとする、とてつもなく反動的な逆流である。さらに、その後方支援(銃後)と称して国家・国民総動員体制をつくらうとするものである。よくいわれているように、「大失業と戦争は一体」である。いま、時代の分岐に直面している。この戦争の歯車が本格的にまわり出す前、今が大切なのである。

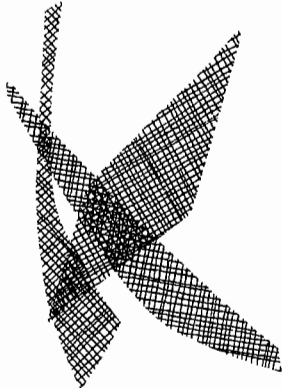
橋本政権は、こうした重大問題にもかかわらず国家の総翼賛化をいいことにして、労働者大衆にこの真相を明らかにせず、今通常国会、場合によっては秋の臨時国会で、この有事立法の強行成立を狙っている。さらに、三月段階でPKO派兵改悪、武器使用、国

連決議なしの派兵などが決められようとしている。全力をあげて、「百万人署名」運動を通し、一人でも多くの人々に訴えよう。

「船橋・習志野・八千代」地域連絡会ははじめ、県下各地で活動開始

「百万人署名」運動は、沖縄から北海道まで、かつてない広範な運動として取り組みがはじまっている。県下でも、中江さん先頭に、「船橋・習志野・八千代」地域連絡会の「結成」をはじめ、各地域での運動「拠点」がつけられ始めている。

この運動は、たたかう労働運動の新しい潮流を形成していくための最も有効で、重要課題である。全組合員は、この「署名」の貫徹にむけてがんばろう。



不当家宅搜索に嚴重に抗議する！

抗議 声明

本日、千葉県警は、昨年一二月に神奈川県内で発生した「放火事件」を口実に、動力車会館に対して全く不当な家宅搜索を強行した。

家宅搜索は、千葉県警本部・鈴木英治らを先頭に制服・私服警官など約六〇名がおしかけ、七時から一〇時まで正統な労働組合活動を妨害するにいたり、日刊動力千葉をはじめ一般に公刊されたいる書物等を押収するという全く不当なものである。

今回の不当家宅搜索は、昨年一二月一日に同じく千葉県警が強行した家宅搜索と同様に、動力千葉とは全く無関係の「放火事件」と承知の上で行なわれたものであり、政治的弾圧以外のなにもでもない。

この不当家宅搜索は、三月二十九日に三里塚現地集会を控え、政府・運輸省が「成田空港二〇〇〇年完成」と叫びながら、三里塚反対同盟の「非妥協・不屈」の闘いをなんとしても解体しようとするものであり、車の両輪として反対同盟とともに闘いぬく動力千葉を狙い撃ちにした反動的な攻撃である。

しかも、九八春闘を「春闘元年」としてストライキで闘いぬく方針を決定し、三月一九日には春闘第一波ストを目前にして総力を挙げてスト体制を構築している最中を狙ったものであり、スト破壊のなにもでもない。

また、国鉄闘争をめぐることも、昨年末の東京地裁による「和解」提示、二月の証人採用拒否と五月一六月に判決という状況にも示されるように、国鉄闘争一一〇四七名の闘いをこの間で一気に破壊しようとするものであり、悪辣な政治的弾圧である。

われわれは、この千葉県警による不当な弾圧を徹底的に弾劾するとともに、労働運動の新たな潮流をつくりあげるために、原則的な労働運動を堅持し、国鉄闘争勝利、新ガイドライン粉碎・有事立法制定阻止のために全力で闘いぬくものである。

右、声明する。

一九九八年三月一六日

国鉄千葉動力車労働組合